

神戸大学農学部国際貢献

食品及び栄養化学教室 金沢和樹

神戸大学農学部が、WHO(世界保健機構)及びUNEP(国連環境計画委員会)に協力して、健康問題や環境問題を通じて国際貢献を試みているお話をします。

昨年8月に、第一回WHO神戸会議「植物と人間の健康」が開催されました。会議は、医学部名誉教授馬場茂明先生を中心に、WHO本部と農学部の教員数名が企画し成功しました。決議として、「地球上の生命のすべてが植物に依存している。特に人類は、植物成分から医薬・化学製品の知識を得ているばかりでなく、植物あるいは植物で飼育した動物を食糧源としている。さらに健康・生活環境も植物によって護られている。植物の役割をより理解すべきである。」を発表しました。さらに、神戸に、WHOの世界で第二番目の研究

研究機関として、健康戦略開発センターの設置が提案され、その企画が進行中です。私達の農学部も、このような国際貢献に参加すべきだと考えました。そこで、学部長の了承を得、農学部の大川秀郎教授を座長として、学部教員10名の委員会を組織し、農学部でWHO指定研究協力センターの誘致を計画しました。本センターでは植物の微量栄養素を中心に研究し、その成果と技術を発展途上国に移転する、という計画です。この案を持って私が数度WHO本部を訪れ、ほぼ了解を得て、現在申請手続きの段階に入っています。WHOは世界各国に千余りの研究協力センターを持っており、そこからの情報をもとに発展途上国へ健康に関する技術援助をしています。これまで、センターはすべて医学関連機関に設置されて

います。本学にセンターが誘致されれば、世界で初めて農学部を設置されることになり、また、センター設置と平行して、93年9月に農学部の先生方を中心とした、第二回WHO神戸会議「植物と栄養」を企画しています。

一方、この計画をUNEPが知り、環境問題についても協力してほしいとの要請がありました。日本に、広く環境問題を討議できる民間団体(非政府組織、NGO)を組織して欲しいという要請です。本年6月の環境サミットでは各国のNGOが活躍しましたが、本組織は従来の組織と異なり、政府機関と協力して実践しようとする組織(UNEP/JAPAN)です。そのため、学術会議会長の近藤次郎先生をはじめ、愛知和男氏など、外務省、通産省、環境庁の実力者が多く参加

しています。実践面では、青年海外協力隊を含めた国際協力事業団、世界最大のNGOである英国王室ガリナーのセイブザチルドレン、日本青年会議所が中心です。私達の農学部は、環境に関する正確で公平な研究情報をすみやかに提供するという形で協力しようと考えています。すでに、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナムの植生回復と食糧生産の援助を始めました。資源開発の津川兵衛教授に学術指導をしていただき、上記の団体の現地駐在員数名が実行する形で7月から本プロジェクトが動き始めました。

皆様、何卒このような神戸大学農学部の活動を御理解下さり、今後とも、絶大な御支援・御援助を賜りますよう、心からお願い致します。



▲ピナトゥボ火山爆発による泥流



▲ピナトゥボ被災地でアタ族の子供達と

ケンブリッジの南にベイブラムという小さな村があります。この村にはAFRC(家畜生理遺伝学研究所)という大きな研究所があり、うちの家族はこの研究所の官舎で二十ヶ月間生活しました。

村には古い教会と小さな小学校、ケンブさん老夫婦がやっている郵便局兼雑貨屋さん、それにパブが一軒あるだけです。この村に停まるバスは一時間に一本、週末に家族揃ってケンブリッジの街に買い物に出かけます。

バス停で待っていると、たいがい車が止まります。「どこまで行くの。ケンブリッジの街は遠いよ、乗っていきな。」ということになります。研究所の人だったり、見ず知らずの人だったり色々です。「そうかい、日本から来たのかい。日本

のどこかい。香港かい、東京かい。」といった具合です。次男が街で迷子になりました。「さっき若い紳士が黒い髪の坊やを何処かに連れていったよ。きつと警察署だよ。」案の定、次男は警察署でエンエン泣いていました。「この子はとてなにか日本語を一つも知らないんだから。」と何回も慰められました。

僕たちのような外国人は、外国人登録をし、入頭税を払いさえすれば、イギリス人とほぼ同じ扱いを受けます。教科書から、ノート、鉛筆、消しゴムにいたるまで子供たちの教育費はすべて無料。病院での医療費、薬代もすべてがたまたまです。日本のことがたまたまテレビや新聞で取り上げられます。熱帯雨林の伐採、捕鯨、人種差別、貧乏な海外旅行、あまり良い話題はありません。

意見が求められることはあっても、「どこの国でもそんな奴はいないものさ。」といった具合です。職業や地位、学歴で優越感を持つたり羨望したりすることもありません。もちろん肌の色、言葉、宗教の違いはバカにされたり、差別を受

ケンブリッジの小さな村

家畜繁殖学教室 宮野隆

うに我が家へ遊びに来るようになり、みんな良い人ばかりです。こちらが困ってれば、お前たちは外国から来たのだからと、親切にしてくれま

す。「英語が上手く喋れなかつたって、コミュニケーションでいければいいんだよ。おれなんか日本語を一つも知らないんだから。」と何回も慰められました。

この市は、1885年に創立されたアリゾナ大学は、北アリゾナ大学、アリゾナ州立大学



▲雨あがりのキャンパス

平成2年10月から平成4年3月までの1年半の間、米国アリゾナ大学に留学する機会を与えられ、貴重な経験をさせていただきまし

た。ロサンゼルスから約2時間の飛行で、アリゾナ大学のあるアリゾナ州第2の都会ツーソン市に到着します。ツーソン市は人口約66万人で、州都フェニックスから南東へ180km、メキシコ国境から北へ100kmの所、ソノラ砂漠の中に位置します。周辺には西部劇でおなじみの巨大なサボテンが林立し、

煉瓦造りの建物が多く、英語とスペイン語の両方が使われている遠くはメキシコ国境からそう遠くないことを思わせます。1年のうち34日は日光に恵まれ、年平均気温が27℃と温暖な気候です。夏の日は40℃を越えることもあり外出は大変ですが、夜間は一気に冷え込む砂漠特有の気候で、湿度は低く、大抵の建物にはエアコンディショナーが備え付けられてあり屋内生活は日本の夏よりむしろ快適でした。ツーソン市ではアリゾナ大学とデービス

モンタン空軍基地が雇用の大きな部分を占めています。また東部やカリフォルニア州の大都会に比べて物価は安く、冬は温暖な気候のため避暑地として東のマイアミと並び有名な所で、全米各地から避暑に訪れる人が多く、観光事業も重要な収入源となつてはいることは、この市の住民が私たち移住者に対して親切で寛容であったことと関係があるのかもしれない。

アリゾナ大学の研究環境

畜産製造学教室 山之上稔

と並びアリゾナ州の3つの州立大学のなかの1つです。現在学生数3万7千人、教職員数約1万3千人、19の学部をもつ総合大学で、公的研究機関のなかで魅力ある研究と外部研究費の増加の点で上位20位以内にはランクされているそうです。アメリカの大学の例にもれず、キャンパスは約130万㎡と広く、煉瓦で装飾された建物は、デザインに工夫を凝らしたつ全体が雰囲気を出さな

いよう配慮されています。砂漠の中ですがスプリングラーにより芝生の美しいキャンパスでは、昼休みにになるとあちこちでランチとテキストを手にした学生達があちこちで見られ、演奏会やバザーなど各種催しが行われたりして活気に溢れます。大学図書館の組織は主図書館、理工系図書館の他6つの分館から成り、書籍、定期刊行物、マイクロフィルムなど約50万品目が所蔵され、充実しています。私の在籍した筋肉生

物学研究グループは教授陣6名を中心に各国からの研究者、テクニシャン、大学院生から成り、よく整った実験設備を持ち研究しやすい環境でした。大学からくる経常費はわずかで、しかもカットされる傾向にあり、教授がNIH等から取ってくる研究費で研究員の給料、実験費用など賄われているそうです。研究費の獲得は大事な仕事で、アメリカの研究環境の良さをうらやましく思いつつも、一定レベルの研究活動を維持していく大変さを感じました。

KUCの近況について

7C 酒井 進

六篠会報の編集者の方から再度KUCPRの依頼があり、昨年に引続いての投稿となりましたが、KUC近況について書き綴って頂くことにします。KUC運営状況については利用も年々増え、クラブ目的としての諸行時活動も積極的に取り組んでいます。KUC運営委員会では、二ヶ月に一回各学部代表による定例会が開かれ、運営状況、クラブ活動状況、大学情報、同窓生の動向等が話し合われます。最近では、神戸大学創立九十周年記念事業について学長がこの会合に出席され内容説明をされました。前回は、各学部代表の講演も定着し年二、三回開催され好評を得ています。講演内容も担当学部の特徴を生かしたもので私達専門外の知識を得る機会に恵まれています。昨年には、鈴木学長に講演をして頂き専門の法律の話(民事訴訟今昔)を面白く聞かせて頂きました。当農学部では、一昨年保田先生による有機栽培野菜に関する講話があり会員の注目を浴びました。会場は神戸新聞会館内七階の金龍閣で催されるのが常です。講演内容によつては、夫婦、会員外の友達と連つて話を聞きに来られる事もあります。その他の活動として行政指導者後援会の手助けも行っています。政治活動も個人的に片寄っては好ましくないと考えられますが、但、同窓生を応援(支持)する純粋な気持ちを持ってKUCが中心となつて後援会設立に協力しています。例えば、神大笹山神戸現市長後援会を発足させたこともKUC行事の活動の一つです。次に

で飲食代が一般の料飲店より安く手頃の値段となつています。因に、メニューは、生貯蔵清酒、ビール、ウィスキー等、酒のつまみは、若とりの唐揚、おでん、チーズ等、二千円程度の予算で結構楽しめます。そして、クラブ内で思わぬ人と出会う事があり旧交を温め情報収集に役立つ事になります。但、静かな雰囲気でお話をしむるには最適ですが、歌唱力の発声練習をされる方にはカラオケ装置がありませんのでこの場所を下地を作つて二次会に出掛けるのも良いと思われまふ。その他、会員には、同窓会員の関連企業の利用割引制度があり、例えば、ホテル宿泊代、料飲店利用割引が含まれます。最後に、現在の学部別入会者構成ですが、先輩の方が多く、次いでKTC、新緑会と六篠会はKUC発足当時とあまり変わらず八十余名となっております。今後若い六篠会員の方に入会して頂いて活気あるKUCになる様に紙面を借りましてお願い申し上げます。

(注)KUCは神戸新聞会館八階



神戸大学学歌

安水 稔和・詩
中村 茂隆・曲
(April, 1992)

さわやかに (♩=104)

もえ る や ま な - み ゆ く - も - に な と ぶ
(そよ) る わ は は れ ま ち ひ か る - う - は - な こ は
と れ り を お う か け に て く - る て
し ゐ の い な そ から わ て - な げ -

か が や く と み は と ず む む ね ま ぶ い ひ か り に な を は な と う
ゆ れ る こ と の は と お い ゆ め ま が れ る み ず に な を う つ そ う
あ れ る ね が い と つ い あ す い き づ く せ かい に な を つ け

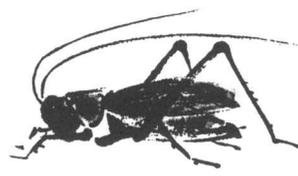
と と も に に う か た う る べ べ べ べ
と と も に に かい た き る べ べ べ べ

の お か の う え こ こ ろ あ は た に く そ や
の お か の う え こ こ ら い は げ し く か ぜ

え あ い あ ざ や か に

庶務・会計報告

- 役員会報告
平成3年3月11日
学内常任幹事会
○農学部教官談話室
○卒業式・入学式時の六篠会の対応
○その他
平成3年4月17日
学内常任幹事会
○農学部E458
○平成3年度定期役員会
○平成3年度事業計画
○その他
平成3年4月23日
平成3年度定期役員会
○金龍閣
○平成2年度経過報告ならびに会計決算報告・会計監査報告
○平成3年度役員選出
○平成3年度事業計画
○平成3年度会計予算
○その他
平成3年7月30日
学内常任幹事会
○農学部小会議室
○神大90周年事業後援会の組織づくりの件
○代議員制度検討委員会設置の件
○その他
平成3年10月18日
学内常任幹事会
○澗川記念学術交流会
○代議員選出方法に関する件
○KUC講演会当番の件
○その他
平成3年12月4日
評議委員会制度検討委員会
○農学部応接室
○評議員の選出
○その他
平成4年4月20日
学内常任幹事会
○澗川記念学術交流会
○平成4年度定期役員会
○平成4年度事業計画
○平成4年度会計予算
○その他
平成4年4月28日
平成4年度定期役員会
○金龍閣
○平成3年度経過報告ならびに会計決算報告・会計監査報告
○平成4年度役員選出
○平成4年度事業計画
○平成4年度会計予算
○その他
新入生入会勧誘、卒業生未入会者入会勧誘、新入生未入会者勧誘、新入生入会者記念品贈呈、学術講演会後援、卒業生証書入筒贈呈、定年退官教官への記念品贈呈、KUC講演会開催(平成3年12月19日 講師 神戸大学学長 鈴木正裕氏、演題 民事訴訟今昔)



原稿募集

同窓会・会報への御意見、御要望、母校の思い出、学科・同期会・研究会など各種会合の案内、近況通信、その他想い出のアルバム・資料等お送り下さい。
— 会報係 —

平成4年度六篠会役員

- 会長 西川 欣一 (A1)
副会長 東 順三 (C1)
久保 一兵 (C2)
能宗 康夫 (C2)
森 俊人 (A4)
- 常任幹事 新家 龍 (C5)
幹事 脇内 成昭 (C15)
庶務 向井 文雄 (神Z4)
会計 杉本 敏男 (神C6)
会名簿 津川 兵衛 (A11)
監事 能宗 康夫 (C2)
中谷 吉実 (A4)
幹事 内藤 親彦 (A13)
山口 禎 (A1)
久下 平 (C1)
田中 平義 (C1)
切貫武代司 (K1)
石田 陽博 (A2)
前川 進 (A3)
鍋山 郁夫 (A4)
藤井 聡 (C5)
津田 安啓 (K5, C8)
北浦 義久 (A6)
氷上 雄三 (Z6)
西浦 康二 (A7)
酒井 進 (C7)
山内 脩 (A9)
杉原 一三 (Z9)
竹内 正 (A10)
中田 昌伸 (C10)
岸原 士郎 (C10)
岡沢 秀晃 (Z11)
河南 保幸 (Z11)
山本 博昭 (A12)
王子 善清 (C12)
辻 莊一 (Z12)
永吉 照人 (A13)
高橋 竹彦 (C13)
西尾 司 (Z16)
中村 直彦 (神Z1)
寺井 弘文 (神A2)
武 正興 (神C3)
山木 和人 (神T4)
三尾 修司 (神A6)
- 事務局 江口 庸平
KUC運営委員: 西川 欣一
新家 龍
酒井 進

六篠会平成3年度一般会計決算報告書

取支対照表	前年度繰越金	2,257,718	本年度支出金	5,867,777
	本年度入金	5,084,973	次年度へ繰越	1,474,914
	合 計	7,342,691	合 計	7,342,691
収入の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	前年度繰越金	2,257,718	2,257,718	
	入 会 費	4,800,000	4,950,000	
	預 金 利 子	40,000	93,718	
	雑 収 入	60,000	41,255	
	合 計	7,157,718	7,342,691	
支出の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	農学部・農場活動援助費	550,000	550,000	
	一 般 事 業 費	2,660,000	1,956,229	
	一 般 事 務 費	700,000	668,195	
	会 旅 費	200,000	157,878	
	旅 費	80,000	25,590	
	慶 弔 費	200,000	164,885	
	神 大 学 友 会 経 費	200,000	45,000	
	農学部系学部連絡会議援助費	200,000	200,000	
	学術振興基金への繰り入れ	2,000,000	2,000,000	
	予 備 費	367,718	100,000	
	合 計	7,157,718	5,867,777	

六篠会平成2年度一般会計決算報告書

取支対照表	前年度繰越金	1,037,212	本年度支出金	4,220,602
	本年度入金	5,441,108	次年度へ繰越	2,257,718
	合 計	6,478,320	合 計	6,478,320
収入の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	前年度繰越金	1,037,212	1,037,212	
	入 会 費	4,500,000	5,400,000	
	預 金 利 子	40,000	20,108	
	雑 収 入	30,000	21,000	
	合 計	5,607,212	6,478,320	
支出の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	農学部・農場活動援助費	550,000	750,000	
	一 般 事 業 費	2,242,780	1,244,490	
	一 般 事 務 費	700,000	592,041	
	会 旅 費	150,000	118,018	
	旅 費	80,000	33,870	
	慶 弔 費	400,000	211,458	
	神 大 学 友 会 経 費	200,000	82,725	
	関西セミナーハウス協力金	158,000	158,000	
	学術振興基金への繰り入れ	1,000,000	1,000,000	
	予 備 費	126,432	30,000	
	合 計	5,607,212	4,220,602	

六篠会平成3年度学術振興基金決算報告書

取支対照表	前年度繰越金	28,332,921	本年度支出金	0
	本年度入金	3,481,705	次年度へ繰越	31,814,626
	合 計	31,814,626	合 計	31,814,626
収入の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	前年度繰越金	28,332,921	28,332,921	
	一般会計より繰り入れ	2,000,000	2,000,000	
	寄 付 金	1,000	0	
	預 金 利 子	1,000,000	1,481,705	
	合 計	31,333,921	31,814,626	
支出の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	海 外 渡 航 援 助 費	500,000	0	
	予 備 金	500,000	0	
	保 留 金	30,333,921	0	
	合 計	31,333,921	0	

六篠会平成2年度学術振興基金決算報告書

取支対照表	前年度繰越金	26,501,737	本年度支出金	0
	本年度入金	1,831,184	次年度へ繰越	28,332,921
	合 計	28,332,921	合 計	28,332,921
収入の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	前年度繰越金	26,501,737	26,501,737	
	一般会計より繰り入れ	1,000,000	1,000,000	
	寄 付 金	1,000	0	
	預 金 利 子	1,000,000	831,184	
	合 計	28,502,737	28,332,921	
支出の部	項 目	予 算 額	決 算 額	
	海 外 渡 航 援 助 費	500,000	0	
	予 備 金	500,000	0	
	保 留 金	27,502,737	0	
	合 計	28,502,737	0	

関係書類を監査した結果、適正に処理され誤りなきものと認める。

平成4年4月20日
中谷 吉実㊟
内藤 親彦㊟

監査の結果誤りのない事を認める。

平成3年4月11日
切貫武代司㊟
中谷 吉実㊟